

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「ハーベスト アジア フロンティア株式ファンド」は、2024年10月25日に第13期の決算を行いました。

当ファンドは、主として外国投資信託「ハーベスト・アジア フロンティア エクイティファンドクラスJ」への投資を通じて、アジア フロンティア諸国へ実質的に投資することで、信託財産の中長期的な成長を図ることをめざして運用を行いました。ここに期中の運用状況と収益分配状況についてご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

### 第13期末 (2024年10月25日)

基準価額	17,646円
純資産総額	4,839百万円
第13期	
騰落率	18.7%
分配金(税込み)合計	0円

(注1) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。

(注3) 当報告書における比率は、表示桁未満を四捨五入しています。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、右記ホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>  
右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」⇒「当該ファンド」を選択⇒「目論見書・定期レポート等」を選択⇒「運用報告書(全体版)」より該当の決算期を選択ください。

# ハーベスト アジア フロンティア株式ファンド

追加型投信／海外／株式

## 交付運用報告書

第13期 (決算日：2024年10月25日)

作成対象期間 (2023年10月26日～2024年10月25日)

 SBI Asset Management

SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9：00～17：00

ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。

<https://www.sbiasset.co.jp/>

## 運用経過

## 基準価額等の推移

(2023年10月26日～2024年10月25日)



期 首：14,868円

期 末：17,646円 (既払分配金 (税込み) : 0円)

騰 落 率： 18.7%

(注1) 当ファンドにはベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、ベンチマーク、参考指数を記載していません。

(注2) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したとみなして計算したファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注3) 分配金の再投資についてはお客様がご利用のコース等により異なります。また、ファンドの運用経過については、当ファンドのパフォーマンスを示したものであり、ファンドの購入価額により課税条件等が異なるため、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注4) 分配金再投資基準価額は、期首(2023年10月25日)の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

## ○基準価額の主な変動要因

## 上昇要因

- ・ベトナムの株価は上昇しました。金融政策の緩和、政府の支援策、輸出の回復などにより、国内経済の成長を支えました。
- ・スリランカの株価は上昇しました。大統領選挙を控えた政治的不透明感により下落した局面もありましたが、アヌラ・クマラ・ディサナヤケの勝利に政治的安定と経済改革の進展に期待が寄せられ、上昇に転じました。
- ・脱中国依存などによりアジアフロンティア市場に外国直接投資の資金流入が期待されています。
- ・スリランカの通貨ルピーは対円で上昇しました。

## 下落要因

- ・バングラデシュの株価は下落しました。低迷する経済、政情不安、高インフレ、外貨準備高の減少が背景にあります。
- ・対円でバングラデシュの通貨タカは下落しました。
- ・対円でベトナムの通貨ドンは下落しました。

## 1万口当たりの費用明細

(2023年10月26日～2024年10月25日)

項 目	当期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	247	1.474	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
( 投 信 会 社 )	(111)	(0.660)	委託した資金の運用の対価
( 販 売 会 社 )	(129)	(0.770)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	( 7 )	(0.044)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	－	－	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税	－	－	(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用	7	0.042	(d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
( 監 査 費 用 )	( 2 )	(0.011)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
( 印 刷 )	( 5 )	(0.031)	開示資料等の作成・印刷費用等
合 計	254	1.516	
期中の平均基準価額は、16,768円です。			

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

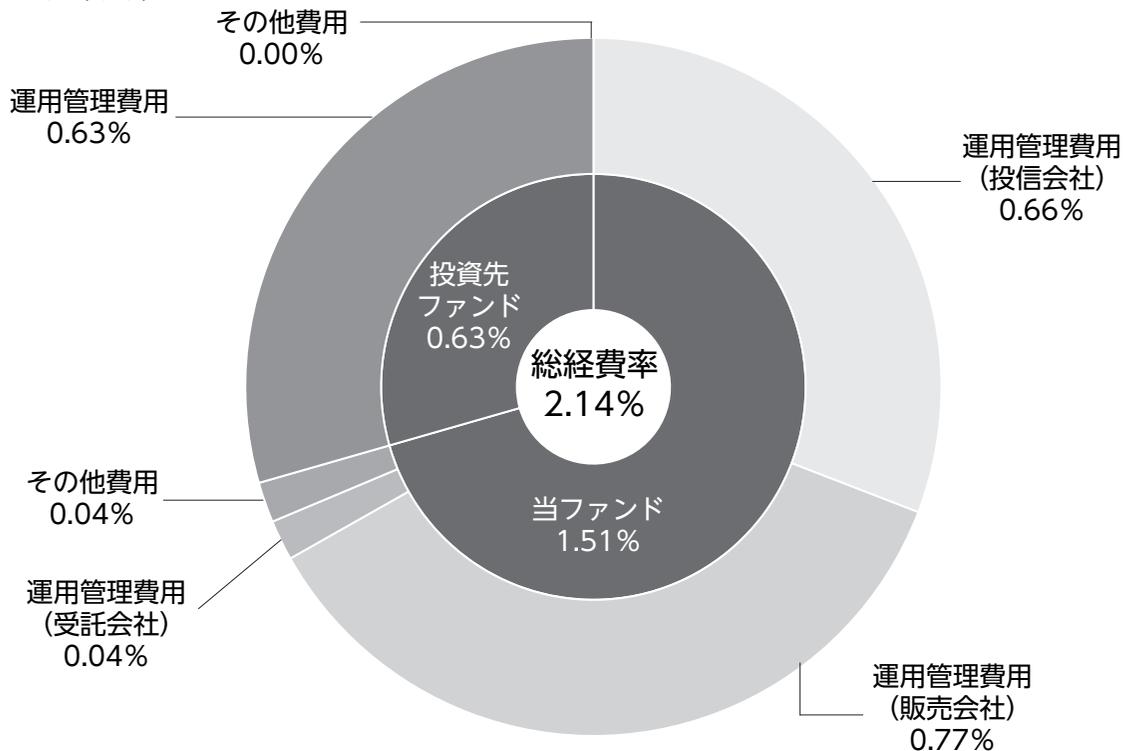
(注5) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)が支払った費用を含みません。

(注6) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示しています。

## (参考情報)

## ○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.14%です。



(単位：%)

総経費率 (①+②+③)	2.14
①当ファンドの費用の比率	1.51
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.63
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) ②の費用は、各月末の投資先ファンドの保有比率に当該投資先ファンドの運用管理比率を乗じて算出した概算値です。

(注3) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。

(注5) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券です。

(注6) ①と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移

(2019年10月25日～2024年10月25日)



- (注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したとみなして計算したファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金の再投資についてはお客様がご利用のコース等により異なります。また、ファンドの運用経過については、当ファンドのパフォーマンスを示したものであり、ファンドの購入価額により課税条件等が異なるため、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2019年10月25日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

	2019年10月25日 決算日	2020年10月26日 決算日	2021年10月25日 決算日	2022年10月25日 決算日	2023年10月25日 決算日	2024年10月25日 決算日
基準価額 (円)	12,186	11,671	16,097	12,838	14,868	17,646
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△4.2	37.9	△20.2	15.8	18.7
純資産総額 (百万円)	2,040	1,980	2,788	2,448	3,770	4,839

- (注1) 当ファンドにはベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、ベンチマーク、参考指数を記載していません。
- (注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。
- (注3) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

## 投資環境

(2023年10月26日～2024年10月25日)

※以下の内容は、当ファンドの主要投資対象である「ハーベスト・アジア フロンティア エクイティファンド クラスJ」受益証券（以下、ハーベストAFエクイティファンドと言います。）を運用するハーベスト グローバル インベストメント リミテッドからのコメントをSBIアセットマネジメント株式会社が和訳・編集・加筆したものです。

## 2023年10月から2024年10月までのアジア・フロンティア市場の投資環境

当期、ベトナムとスリランカ株式市場は経済状況の改善を背景に上昇しました。一方、バングラデシュ株式市場は景気の不透明感と市場流動性の薄さにより下落しました。

ベトナム市場を代表するVN指数は上昇しました（現地通貨ベース）。景気は、2023年3月に底を打って以来、着実に回復しています。金融政策の緩和、政府の支援策、輸出の回復などにより、GDP成長率は第3四半期（9月末）には7.4%に加速し、四半期ベースでは2022年第3四半期の13.7%増以来の高い伸びを記録しました。ハイテク・サプライ・チェーンにおけるベトナムの役割が増大しており、2024年第3四半期（9月末）の電子機器輸出は前年同期比20.6%増と急増しました。米ドル高と国内の金融緩和にもかかわらず、実際の海外直接投資（FDI）の改善により、ベトナムの通貨は比較的安定しています。

スリランカ市場を代表するCSEALL指数は上昇しました（現地通貨ベース）。市場は2024年を通して不安定でしたが、9月に力強い反発を見せました。これは大統領選挙を控えた政治的不透明感による数ヶ月の下落の後のことで、投資家はアヌラ・クマラ・ディサナヤケの勝利に政治的安定と経済改革の進展に期待を寄せ、ポジティブに反応しました。2024年初め、政府は国際通貨基金（IMF）プログラムの一環として、増税や補助金の削減を含む緊縮策を実施し、こうした措置は財政を安定させるために必要なものでしたが、国民の不満が広がりました。ディッサナーヤケの勝利は政治的に大きな変化をもたらし、就任直後、彼は議会を解散し、臨時選挙を要求し、政治改革を追求する意思を示しました。

バングラデシュ市場を代表するDSEX指数は下落しました（現地通貨ベース）。この暴落の背景には、低迷する経済、政情不安、高インフレ、外貨準備高の減少がありました。2024年8月に政変が起こり、一時的に反発した後、9月には衣料品セクターの労働者不安が続き、経済見通しが弱まったため、市場は再び下方圧力を受けました。最も大きな政変は2024年8月に起こり、シェイク・ハシナ首相が広範な抗議デモの中で辞任したことを受け、同国の輸出の85%を占める衣料品業界では動揺が続き、投資家



(注1) グラフは、BNPパリバ セキュリティーズ・サービスが算出した数値に基づいています。

(注2) 報酬（固定報酬・成功報酬）控除後の数値です。

(注3) 純資産価格は、翌営業日の「ハーベスト アジア フロンティア株式ファンド」の基準価額に反映されます。

の信頼に影響を与えました。バングラデシュ銀行は収縮的な金融政策を実施しましたが、その効果は限定的であり、輸出部門、特に既製服（RMG）産業は、投入コストの上昇、世界的な需要減速、エネルギー不足のため、厳しい状況が続いています。世界銀行は2024-25年のGDP成長率予測を5.7%に下方修正しました。

## 当ファンドのポートフォリオ

(2023年10月26日～2024年10月25日)

### <当ファンド>

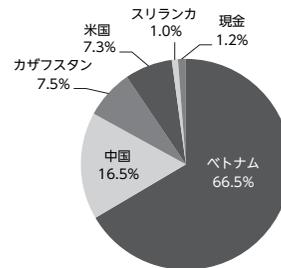
当ファンドは、2011年10月28日に運用をスタートし、当期は第13期となります。当ファンドは設定日以降、外国投資信託（円建て）「ハーベストAFエクイティファンド」を高位に組み入れています。当期の基準価額（分配金込み）は18.7%の上昇となりました。

### <ハーベストAFエクイティファンド>

※ハーベストAFエクイティファンドを運用するハーベスト グローバル インベストメント リミテッドからのコメントをSBIアセットマネジメント株式会社が和訳・編集・加筆したものです。

当期の投資国は、ベトナムの組み入れを高位に維持するとともに、中国とカザフスタンの組入比率を引き上げました。

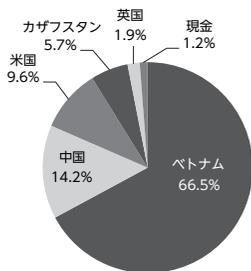
組入企業が事業展開をしているフロンティア諸国等の構成比率  
(2024年9月末現在)



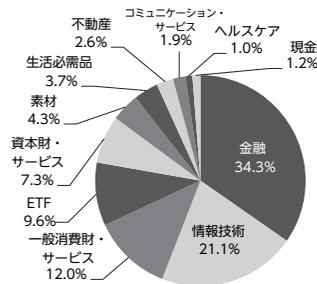
(注1) 組入企業が事業展開をしているフロンティア諸国・地域等を示しています。

(注2) 比率は投資信託証券の純資産総額に対する割合です。

国・地域別構成比率  
(2024年9月末現在)



業種別構成比率  
(2024年9月末現在)



(注) 比率は投資信託証券の純資産総額に対する割合です。

### 組入上位5銘柄 (2024年9月末現在)

銘柄名	事業展開をしているフロンティア諸国等	業種	構成比
エフ・ピー・ティ	ベトナム	情報技術	9.5%
DCVFMVN DIAMOND ETF	ベトナム	ETF	7.5%
HDバンク	ベトナム	金融	5.9%
ベトナム テクノロジカル&コマーシャル ジョイント ストック バンク	ベトナム	金融	5.8%
カザフスタンハリク銀行	カザフスタン	金融	5.7%

(注1) 「事業展開をしているフロンティア諸国等」は、実際の上場取引所の国々とは必ずしも一致しません。

(注2) 比率は投資信託証券の純資産総額に対する割合です。

(注3) ハーベストAFエクイティファンドのデータにつきましては、ハーベスト グローバル インベストメント リミテッドのデータを基にSBIアセットマネジメントが作成しています。

### <FOFs用短期金融資産ファンド (適格機関投資家専用)>

主要投資対象である「短期金融資産 マザーファンド」の受益証券を高位に組入れ、これを維持しました。

「短期金融資産 マザーファンド」において、日本銀行の金融緩和継続により残存1年未満の短期国債のマイナス利回り推移が概ね続いたことから、コールローン等にて運用を行いました。

**当ファンドのベンチマークとの差異**

(2023年10月26日～2024年10月25日)

当ファンドにはベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、ベンチマーク、参考指数を特定しておりません。

**分配金**

(2023年10月26日～2024年10月25日)

当期は、当ファンドの分配方針に基づき、収益分配可能額（配当等収益額から経費等を控除）を算出し、市況動向や基準価額の水準などを考慮した結果、当期の収益分配は行わないことといたしました。

なお、収益分配にあてなかった利益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

**○分配原資の内訳**

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第13期
	2023年10月26日～ 2024年10月25日
当期分配金	－
(対基準価額比率)	－%
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	7,645

(注1) 対基準価額比率は、当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金（税込み）と一致しない場合があります。

## 今後の見通しと運用方針

### <当ファンド>

当初の運用方針通り、ハーベストAFエクイティファンドの投資を通じ、信託財産の中長期的な成長をめざした運用を行います。

### <ハーベストAFエクイティファンド>

※ハーベストAFエクイティファンドを運用するハーベスト グローバル インベストメント リミテッドからのコメントをSBIアセットマネジメント株式会社が和訳・編集・加筆したものです。

最近の米連邦準備制度理事会（FRB）の利下げは投資家心理に好影響を与え、ベトナムのような新興市場への資金流入を促しています。ベトナムは、特にテクノロジーや繊維製品などの分野で、製造工場の移転を検討している国際企業にとって好ましい投資先となりつつあり、その結果、競争力のある人件費とロジスティクスの改善により、ベトナムの輸出は伸びると予想されます。

スリランカの株式市場は、進行中の経済改革と政治的变化の中で慎重に回復しています。アヌラ・クマラ・ディサナヤケ大統領は汚職撲滅、債務再編、国際通貨基金（IMF）の29億ドルの救済パッケージの条件の再交渉に取り組んでいます。今後、スリランカ経済を牽引していくのは、IMFの支援継続、構造改革、観光業と海外直接投資の回復の可能性などですが、持続可能な経済成長のために、政治的安定を確保し、国民の支持を維持しなければならないと考えます。

バングラデシュ株式市場は現在、政治と経済が大きく変化する中、厳しい環境に置かれている。ノーベル賞受賞者のムハマド・ユヌス氏が率いる暫定政権が最近発足し、慎重な楽観論が聞かれるようになりましたが、投資家の信頼は依然として脆弱で、改革の効果にはまだ大きな疑問が残っています。

### <FOFs用短期金融資産ファンド（適格機関投資家専用）>

主として、短期金融資産 マザーファンドの受益証券への投資を通じて、わが国の短期金融資産等（短期公社債及び短期金融商品を含みます。）を中心に投資を行います。

## お知らせ

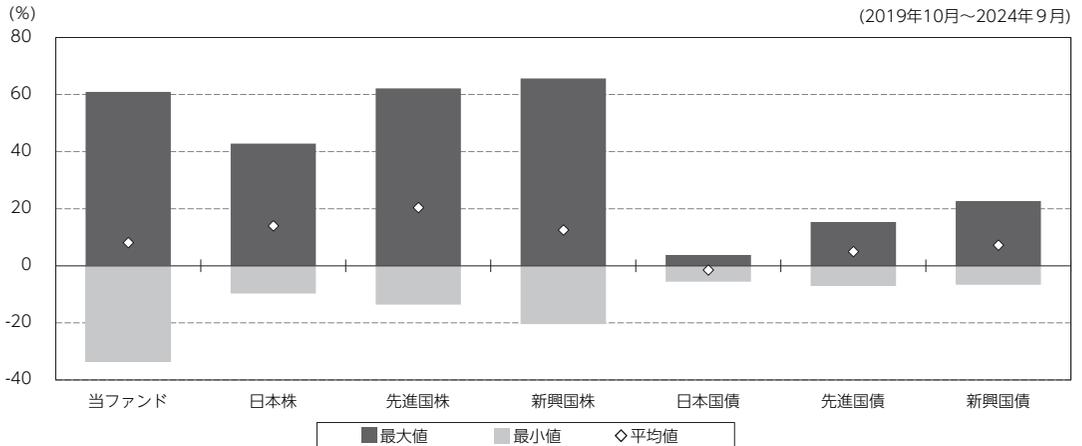
該当事項はありません。

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	無期限（2011年10月28日設定）
運用方針	投資信託財産の中長期的な成長を図ることをめざして運用を行います。
主要投資対象	主として、外国投資信託「ハーベスト・アジア フロンティア エクイティファンド クラスJ」受益証券と「FOFs用短期金融資産ファンド（適格機関投資家専用）」受益権を主要投資対象とします。
運用方法	<p>①投資信託証券への投資割合には制限を設けません。</p> <p>②外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。</p> <p>③株式への直接投資は行いません。</p> <p>④デリバティブの直接利用は行いません。ただし、当ファンドが投資対象とする外国投資信託証券においてデリバティブを利用する場合があります。</p> <p>⑤投資信託証券、短期有価証券及び短期金融商品等（短期投資を目的とする公社債等の有価証券を含みます。）以外への直接投資は行いません。</p>
分配方針	<p>毎決算時（毎年10月25日。休業日の場合は翌営業日とします。）に原則として以下の方針により分配を行います。</p> <p>分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とし、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して収益分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わない場合があります。将来の分配金の支払い及びその金額について保証するものではありません。</p>

## (参考情報)

## ○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	60.9	42.8	62.2	65.6	3.8	15.3	22.7
最小値	△ 33.7	△ 9.8	△ 13.6	△ 20.4	△ 5.6	△ 7.1	△ 6.6
平均値	8.1	14.0	20.4	12.5	△ 1.5	5.0	7.2

(注1) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2019年10月から2024年9月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注3) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注4) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

## 《代表的な各資産クラスの指数》

日本株…Morningstar 日本株式指数

先進国株…Morningstar 先進国株式指数 (除く日本)

新興国株…Morningstar 新興国株式指数

日本国債…Morningstar 日本国債指数

先進国債…Morningstar グローバル国債指数 (除く日本)

新興国債…Morningstar 新興国ソブリン債指数

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。各指数は、全て税引前利子・配当込み指数です。

\*各指数についての説明は、最終ページの「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

## 当ファンドのデータ

## 組入資産の内容

(2024年10月25日現在)

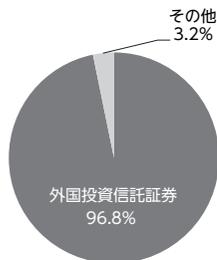
## ○組入上位ファンド

銘柄名	第13期末
	%
ハーベスト・アジア フロンティア エクイティファンド クラスJ	96.8
FOFs用短期金融資産ファンド(適格機関投資家専用)	0.0
その他	3.2
組入銘柄数	2銘柄

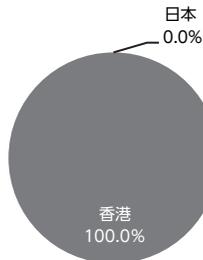
(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

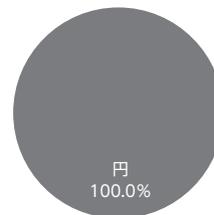
## ○資産別配分



## ○国別配分



## ○通貨別配分



(注1) 資産別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 国別配分は組入有価証券評価額に対する比率です。

(注3) 国別配分は発行国を表示しています。

(注4) 通貨別配分は組入投資信託証券の株式評価額に対する比率です。

## 純資産等

項目	第13期末
	2024年10月25日
純資産総額	4,839,777,447円
受益権総口数	2,742,715,066口
1万口当たり基準価額	17,646円

(注) 期中における追加設定元本額は699,843,415円、同解約元本額は493,331,015円です。

## 組入上位ファンドの概要

### ハーベスト・アジア フロンティア エクイティファンド クラスJ

作成時点において、入手可能な直前計算期間の年次報告書を基に作成しております。

#### 【1口当たり純資産価格の推移】

(2023年1月1日～2023年12月31日)



#### 【1万口当たりの費用明細】

入手可能な費用明細のデータが存在しないため、掲載しておりません。

- (注1) 設定日の1口当たり純資産価格は1,000円です。  
 (注2) 報酬(固定報酬・成功報酬)控除後の数値です。  
 (注3) グラフは、BNPパリバ・セキュリティーズ・サービズが算出した数値に基づいています。  
 (注4) 上記純資産価格は、「ハーベスト アジア フロンティア株式ファンド」の翌営業日の基準価額に反映されます。

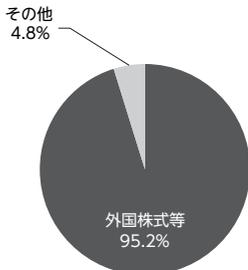
#### 【組入上位10銘柄】

(2023年12月30日現在)

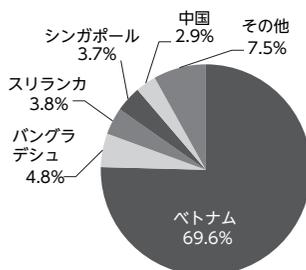
	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率(%)
1	FPT CORP	情報技術	ベトナム・ドン	ベトナム	8.7
2	GEMADEPT CORP	資本財	ベトナム・ドン	ベトナム	5.5
3	HO CHI MINH CITY DEVELOPMENT JOINT STOCK	金融	ベトナム・ドン	ベトナム	4.7
4	VIETTEL CONSTRUCTION JOINT STOCK CORP	資本財	ベトナム・ドン	ベトナム	4.7
5	DIGIWORLD CORP	情報技術	ベトナム・ドン	ベトナム	4.6
6	PHU NHUAN JEWELRY JSC	一般消費財関連	ベトナム・ドン	ベトナム	4.5
7	BANK FOR FOREIGN TRADE OF VIETNAM JSC	金融	ベトナム・ドン	ベトナム	4.3
8	MILITARY COMMERCIAL JOINT STOCK BANK	金融	ベトナム・ドン	ベトナム	3.6
9	BANK FOR INVESTMENT AND DEVELOPMENT OF VIETNAM	金融	ベトナム・ドン	ベトナム	3.1
10	MOBILE WORLD INVESTMENT CORP	一般消費財関連	ベトナム・ドン	ベトナム	3.1
組入銘柄数				47 銘柄	

- (注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。  
 (注2) 国(地域)は各企業が取引される取引所の国(地域)です。

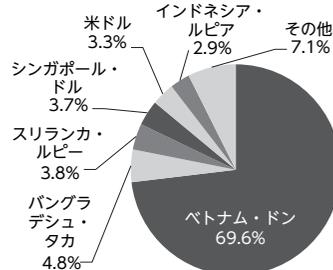
#### 【資産別配分】



#### 【国(地域)別配分】



#### 【通貨別配分】



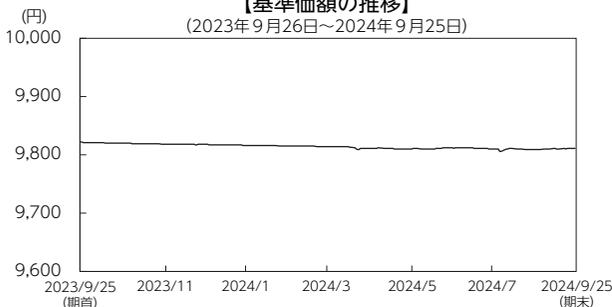
- (注1) 組入銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは、2023年12月30日現在のものです。  
 (注2) 国(地域)は各企業が取引される取引所の国(地域)です。  
 (注3) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。  
 (注4) 各配分比率は、表示単位未満を四捨五入しているため合計が100%にならないことがあります。

FOFs用短期金融資産ファンド（適格機関投資家専用）

作成時点において、入手可能な直前計算期間の年次報告書を基に作成しております。

【基準価額の推移】

(2023年9月26日～2024年9月25日)



【1万口当たりの費用明細】

(2023年9月26日～2024年9月25日)

項目	当 期	
	金額	比率
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託銀行)	14円 ( 11) ( 1) ( 2)	0.143% (0.110) (0.011) (0.022)
(b) その他費用 (監査費用) (その他)	0 ( 0) ( 0)	0.003 (0.003) (0.000)
合 計	14	0.146

(注) 上記項目の概要につきましては、P2をご参照ください。

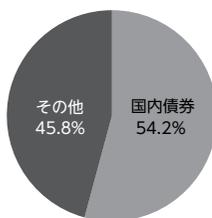
【組入上位10銘柄】

(2024年9月25日現在)

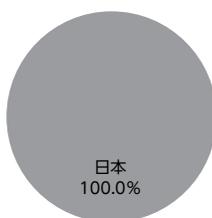
	銘柄名	国(地域)	比率(%)
1	第1220回国庫短期証券	日本	54.2
組入銘柄数		1銘柄	

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

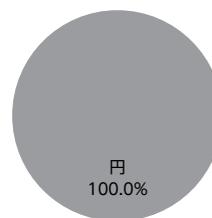
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 基準価額の推移、組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2024年9月25日現在のものです。

(注2) 1万口当たりの費用の明細は、「FOFs用短期金融資産ファンド（適格機関投資家専用）」の直近の決算期のものです。

(注3) 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは、「FOFs用短期金融資産ファンド（適格機関投資家専用）」の組入ファンドである「短期金融資産 マザーファンド」のデータです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

※ 「短期金融資産 マザーファンド」において、日銀の金融緩和継続により残存1年未満の短期国債のマイナス利回り推移が概ね続いたことから、コールローン等にて運用を行いました。

## <代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

### <各指数の概要>

- 日本株：Morningstar 日本株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本に上場する株式で構成されています。
- 先進国株：Morningstar 先進国株式指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本を除く世界の先進国に上場する株式で構成されています。
- 新興国株：Morningstar 新興国株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、世界の新興国に上場する株式で構成されています。
- 日本国債：Morningstar 日本国債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本の国債で構成されています。
- 先進国債：Morningstar グローバル国債指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本を除く主要先進国の政府や政府系機関により発行された債券で構成されています。
- 新興国債：Morningstar 新興国ソブリン債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、エマージング諸国の政府や政府系機関により発行された米ドル建て債券で構成されています。

### <重要事項>

本ファンドは、Morningstar, Inc.、又はモーニングスター・ジャパン株式会社を含むMorningstar, Inc.が支配する会社（これらの法人全てを総称して「Morningstarグループ」と言います）が組成、推薦、販売または宣伝するものではありません。Morningstarグループは、投資信託への一般的な投資の当否、特に本ファンドに投資することの当否、または本ファンドが投資対象とする市場の一般的な騰落率と連動するMorningstarのインデックス（以下「Morningstarインデックス」と言います）の能力について、本ファンドの受益者又は公衆に対し、明示又は黙示を問わず、いかなる表明保証も行いません。本ファンドとの関連においては、委託会社とMorningstarグループとの唯一の関係は、Morningstarのサービスマーク及びサービス名並びに特定のMorningstarインデックスの使用の許諾であり、Morningstarインデックスは、Morningstarグループが委託会社又は本ファンドとは無関係に判断、構成、算定しています。Morningstarグループは、Morningstarインデックスの判断、構成又は算定を行うにあたり、委託会社又は本ファンドの受益者のニーズを考慮する義務を負いません。Morningstarグループは、本ファンドの基準価額及び設定金額あるいは本ファンドの設定あるいは販売の時期の決定、または本ファンドの解約時の基準価額算出式の決定あるいは計算について責任を負わず、また関与していません。Morningstarグループは、本ファンドの運営管理、マーケティング又は売買取引に関連していかなる義務も責任も負いません。

Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータの正確性及び／又は完全性を保証せず、また、Morningstarグループは、その誤謬、脱漏、中断についていかなる責任も負いません。Morningstarグループは、委託会社、本ファンドの受益者又はユーザー、またはその他の人又は法人が、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータを使用して得る結果について、明示又は黙示を問わず、いかなる保証も行いません。Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータについて明示又は黙示の保証を行わず、また商品性あるいは特定目的又は使用への適合性に関する一切の保証を明確に否認します。上記のいずれも制限することなく、いかなる場合であれ、Morningstarグループは、特別損害、懲罰的損害、間接損害または結果損害（逸失利益を含む）について、例えこれらの損害の可能性を告知されていたとしても責任を負いません。